

ISO 幹事国活動

1. 国際規格発行に関する進捗状況

- (1) ISO 規格が発行されたもの: 2 件
ISO 6935-1 (SC 16): 鉄筋用鋼-丸棒
ISO 10144 (SC 16): 鉄筋用棒鋼, 鋼線の認証法
(2) 新作業項目が登録されたもの: 1 件
WI 11603 (SC 16): コンクリート用耐食被覆鉄筋 (エポキシ被覆)

2. 中央事務局関係

- (1) 規格作成期間を飛躍的に短縮する提案 (ISO/TECHNICAL BOARD 258 January 1991)
1991 年 3 月に開催された Technical Board で, IEC から提案されている上記提案が討議されたが, 最終決定は 10 月に延期された。

1) 提案の内容

- a) DIS 登録のコンセンサスから発行までの期間を 14 か月とする。(従来実績 35~40 か月)
b) New project 登録から DIS 登録までの期間を 3 年とする。(従来実績 4.5 年, 目標 7 年)

2) 上記達成の方法

- a) 技術的問題の解決は DIS 登録以前にすませておくこと。それにより, DIS 投票は技術的コメントなしの Yes or No の追認的投票とする。投票で承認された DIS は editorial な修正だけで中央事務局の決定で発行される。

- b) CD 投票の期間を Max 6 か月 (従来 3 か月) とし, 十分な技術的検討の上コメントを提出すること, また会議の決定事項は Editing committee により早急に (会議中または直後に) 修正されること。

要約すると上記のようになるが, 精神としては Project leader 制の活用により, 従来の DIS 投票を実質 CD 投票に移行し期間短縮を計るというものである。

(2) ISO と CEN の協力関係の強化

"Agreement on technical cooperation between ISO and CEN" の改訂版が ISO 主導で提案され, 1991 年 6 月 27 日ウィーンで開催された CEN Administrative Board に諮られ承認された (今後 Vienna agreement と称する)。

主要な項目は

- 1) お互いの作業の Joint planning と透明性増大のため, 会議に相互に出席できる (Mutual attendance).
2) 作業の重複を避けるため, ISO で作られた DIS または CEN で作られた pr EN のどちらか一つで両方同時に投票を行う (Parallel voting).

3. TC 17 (鉄鋼) 関係

(1) TC 17 総会準備状況

- 1) Final draft agenda を作成し, 中央事務局及び関係先へ送付した。
2) 同時に登録用紙, 他庶務事項 (京都へのアクセス, ホテルリスト, 等) の案内を関係先へ送付した。

(2) Quarterly Report of ISO/TC 17 の発行

ISO/TC 17 内の連携をより良くする手段の一つとして, 各 SC の Secretariat 及びメンバー国の間の情報交換を目的とする Report を発行することが今年度の事業計画に盛り込まれていたが, 今月その第一号を発行した。内容は当鉄鋼 ISO レポートの 3 か月分 (今回は 6 か月分) の翻訳版である。今後は各 SC Secretariat 及びメンバー国からのより多くの情報提供を期待しており, 充実した中味としていきたい。

(3) CD 8458-3 (TC 17/WG 20) の DIS 登録申請

上記は TC 17 内で基本的に DIS 登録の承認が得られていたが, 寄せられたコメントをもとに一部表現の修正を行った上で, DIS 登録の申請を行った。

(4) SC 2-WI 131.1: Vocabulary-Heat treatment

昨年 6 月の TC 17/EC 会議で, 「同じタイトル及びスコープのヨーロッパ規格が成立したら, それを ISO の Accelerated procedure で扱って International Standard にするかどうかを決めよう, ついては, ヨーロッパ規格の原案 (EURONORM 52 とほとんど同じ) をあらかじめ SC 2 の P-メンバーに circulate してコメントをもらい, フランスの Mr. ROCHE (ヨーロッパ規格作成の責任者) にその扱いを検討してもらう」という決議がなされているが, 7 月 18 日付で上記原案を circulate した (締切り 8.31)。

(5) SC 8

幹事国 (インド) 辞任に伴う後任国募集は応募者無しであった。従って, 今ある 5 件の作業項目をどう取り扱うかも含めて, 秋の TC 17 総会で討議する予定である。しかしながら当事務局としては, この 5 件の作業項目は登録以後 9~26 年も経過して未だにコンセンサスに至っていない実態も考慮し, この際すべてキャンセルし必要があれば新幹事国の下で作業するのが最善と考えている。そこで, あらかじめ SC 8 の P-メンバーの意見を聴取するための questionnaire を 10 月 31 日締切りで送付した。

4. TC 17/SC 1 (化学成分分析) 関係

(1) CD 4830-4 (C-燃焼電量法)

上記の取扱いに関し, ISO/TR 4830-4 は withdraw するが, 次回 SC 1 会議 (1992 年 6 月) までは据え置くことを中央事務局が了承した。

5. TC 67/SC 5 (油井管) 関係

(1) 第 6 回 TC 67/SC 5 諮問部会 (7 月 19 日開催)

TC 67/SC 5/WG 1 (油井管規格原案作成) への具体的な対応策を検討し, 下記の方針を決定した。

- 1) 2 本立ての規格原案 (下記 (a), (b)) 作成の必要性を検討し, これが必要な場合 SC 5/WG 1 ではなく, SC 5 へ提案する。

(a) API どちらの規格, (b) API + α の規格

- 2) SC 5/WG 1 へは API + α の規格になることを前提とし, 日本コメントを作成する。内容は第 1 回国際会議の TC 67/SC 5 幹事国提案を参考とする。

6. 国内会議実績

TC 67/SC 5 諮問部会

- 7 月 19 日, 奈良部会長, 他 8 名
SC 20 分科会 7 月 10 日, 丸山主査, 他 8 名
SC 4 分科会 7 月 16 日, 佐原主査, 他 11 名
7. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)
(1) SC 16 国際会議 10 月 15 日~17 日, イスラエ

- ル
(2) SC 12 国際会議 11 月 12 日~15 日, 京都
(3) SC 20 国際会議 11 月 15 日~16 日, 京都
(4) TC 17 総会 11 月 19 日~22 日, 京都

国際会議 First Circular 案内

主催 日本鉄鋼協会

International Conference on Computer-Assisted Materials Design and Process Simulation (COMMP '93)

本会では標記国際会議を 1993 年 9 月に東京において開催いたしますが、会議組織委員会 (委員長 新居和嘉金属材料技術研究所所長) では First Circular を発行し、下記トピックスの発表論文の募集を行っております。ご入用の方は下記 9 へご請求願います。

1. 会議の名称

- (和文名) 材料設計およびプロセス工学へのコンピューター利用国際会議
(英文名) International Conference on Computer-Assisted Materials Design and Process Simulation
(略 称) COMMP '93

2. 会 期 1993 年 9 月 6 日 (月) から 9 日 (木) までの 4 日間

3. 会 場 日本都市センター (東京都千代田区平河町)

4. 会議トピックス

I. Process Simulation

- I-1 Transport and Rate Phenomena
Reduction, Refining, Casting
- I-2 Structural Evolution
Solidification, Welding, Joining, Thermomechanical processing
- I-3 Solid Engineering
Plastic forming, Powder forming, Mechanical alloying
- I-4 Novel Materials Processing
Thin film fabrication, Surface modification, Amorphization, Micro-gravity processing, STM processing

II. Materials Design

- II-1 Prediction of Fundamental Properties
Mechanical properties, Electronic and Magnetic properties, Thermodynamic properties
- II-2 Characterization and Design of Microstructure
Phase diagram, Phase transformation, Recrystallization, Pattern formation, Interface and grain boundary
- II-3 Structural Materials
High strength alloys, Heat-resistant alloys, High damping alloys, Metal matrix composites, Nuclear materials
- II-4 Functional Materials
Shape memory alloys, Rare earth magnet, Magnetic steel sheet etc.
- II-5 Reliability Evaluation
Fatigue, Creep, Corrosion, Fracture, Life Prediction, Nondestructive evaluation, Radiation damage

III. Fundamental Tools for the Process and Materials Design

Materials characterization, Artificial reality, Neural network, Special purpose processor, Data base, Knowledge base

5. Abstract : (1) 語数 400 語

(2) 締切日 1992 年 9 月 14 日

(3) 採否通知 1992 年 12 月

6. 会議用語 : 英語 (通訳なし)

7. 会議 Proceedings : 会議当日参加者全員に配布

8. 参加登録費 : 60,000 円 (会員) 70,000 円 (非会員)

9. 連絡・問合せ先 :

First Circular ならびに本会議に関するお問合せは下記宛お願いいたします。

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 (社) 日本鉄鋼協会 国際室 COMMP '93 係

TEL 03-3279-6021 FAX 03-3245-1355